



特別賞

設計部門



福岡市水上公園 SHIP'S GARDEN SAILING PARK ～世界へ、市民とともに帆をあげて

株式会社 エスティ環境設計研究所 井口直
スピングラス・アーキテクト 松岡恭子
リズムデザイン 井手健一郎・宗像友昭
株式会社松下美紀照明設計事務所 松下美紀

本設計は福岡市で最も古い街区公園を、“天神ビッグバン”（福岡市都心部における国家戦略特区をトリガーとして新たな空間と雇用を創出する取組み）の主要事業のひとつとしてリニューアルを行ったものです。

水上公園（中央区西中洲）は、天神と博多を結ぶ福岡市都心部の幹線道路である明治通りと、那珂川及び薬院新川に挟まれた場所に位置しています。幹線沿いかつ水辺沿いの好立地であり、全方位から見える・見られる場所となっています。

水上公園に関わるプロジェクトの特徴の一つは、業務の実施体制です。1,200㎡程度の小さな公園でありながら公園や建築の専門家のみならず、照明や施工、維持管理、イベント、テナントなどのあらゆる専門家が一堂に会し、計画段階から施工段

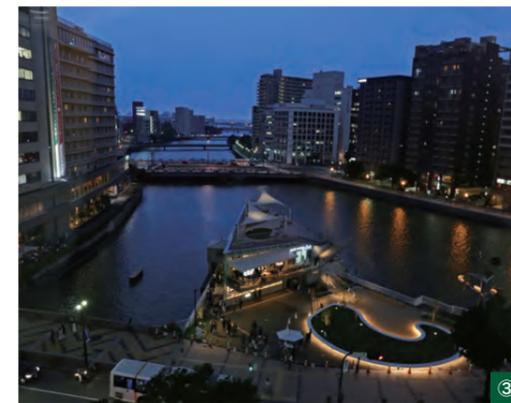
作品概要

作品名—— 福岡市水上公園 SHIP'S GARDEN SAILING PARK
～世界へ、市民とともに帆をあげて
所在地—— 福岡市中央区西中洲地内
発注—— 福岡市
設計—— 株式会社 エスティ環境設計研究所
設計協力—— スピングラス・アーキテクト:建築設計
リズムデザイン:建築設計
株式会社松下美紀照明設計事務所:照明デザイン
監理—— 福岡市
施工—— 公園部:株式会社西鉄グリーン土木
建築部:株式会社松本組
設計期間—— 2015年8月25日～2015年12月15日
施工期間—— 2015年11月～2016年7月
規模—— 0.12ha(内SHIP'S GARDENによる1階占有面積344㎡)
主要施設—— SHIP'S GARDEN(飲食施設)

作品評

本作品は、福岡都心部の水辺空間にある街区公園を、民間活力を導入して整備・管理運営を行ったものである。当該公園は福岡市で最も古い街区公園だが、賑わいの利用拠点として定着しなかった。しかし、市が進める“天神ビッグバン”の主要事業のひとつとしてリニューアルしたもので、当該公園だけでなく隣接する緑道も含めた一公園として建蔽率を稼ぎ、計画を実現させた。国が進める公園利用改革に合わせた福岡市の英断も、当該作品の背景にはある。
応募者は、事業コンソーシアムの一員として公園整備部分を担当したもので、ランドスケープアーキテクトとして関係者とのコラボレーションに苦心の跡が感じられる。しかし、屋上部分との連続性をもっと強調されていれば、との意見もあり特別賞となった。

設計部門



① エントランスを演出するロングベンチとアート作品（新宮晋氏 / 風のプリズム） ② 那珂川を眺めながらくつろぐ人々 ③ 那珂川と薬院新川に挟まれた水上公園の夜景 ④ 歩道沿いにせり出したロングベンチと間接照明による公園の雰囲気のにじみだし

階まで通してそれぞれの専門の見地から議論を重ねて設計を進めました。

設計にあたっては、休養施設を設けながら公園としての面積と魅力をどのように確保するかが大きな課題でした。そのため、福岡都心部の立地や川に挟まれた地形、三角形の特徴的な敷地形状など土地の特徴や周囲の魅力を公園に取り入れながら開放的な空間としています。さらに、個々の施設に多くの機能を持たせ、シンプルな空間とすることを設計方針としました。

具体的には、公園としての面積を確保するため、休養施設の屋上を誰もが利用できる広場とし、公園部分から直接屋上へと

アプローチできるようにしています。また、公園としての魅力を確認するため、休養施設の屋上へとスムーズに登っていきけるよう丘を設け、この丘が色々な高さから水辺の景観を楽しむことができる視点場や、イベント時のステージ等として機能するようにしました。丘の周囲を囲うように配置したベンチは、公園の雰囲気周辺へのにじみだしていき、明治通りを歩く人々がふと座ってみたいくなるように歩道側までせり出した形状としています。夜にはベンチに設置された間接照明に光が灯り、ベンチが浮かび上がって見えることで公園のシンボリックな夜景を演出します。